

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	24-319	慶應義塾大学名誉教授 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
Modifiable Risk Factors for Hepatocellular Carcinoma in Patients with Metabolic Dysfunction-Associated Steatotic Liver Disease: A Meta-Analysis 代謝機能障害関連脂肪肝疾患患者における肝細胞癌の修正可能な危険因子：メタアナリシス		
執筆者		
Shiyu Xiao ¹ , Ya Liu ¹ , Xiliang Fu ² , Tong Chen ² , Wenhui Xie ³		
掲載誌		
Am J Med. 2024 Nov;137(11):1072-1081.e32. doi: 10.1016/j.amjmed.2024.06.031.		
キーワード	PMID	
肝細胞癌 (HCC)、メタアナリシス、代謝異常関連脂肪肝疾患 (MASLD)、修正可能な危険因子、系統的レビュー	39047929	
要 旨		
<p>背景と目的：代謝異常関連脂肪性肝疾患 (MASLD) の発生率増加に伴い、MASLD 関連肝細胞癌 (HCC) も漸増している。この状況下で、我々は MASLD 患者における修正可能な因子と新規 HCC 発症リスクとの関連性を調査することを目的とした。</p> <p>方法：2名の著者が独立して電子データベース (PubMed、Embase、Cochrane Library) を創刊時から 2023 年 4 月 1 日まで検索した。修正可能な危険因子と MASLD 関連 HCC の関連性を報告した観察研究を対象とした。研究アウトカムに対する効果サイズはランダム効果モデルを用いて算出し、リスク比と 95%信頼区間として提示した。</p> <p>結果：102 万例を対象とした 31 研究が対象となった。生活習慣因子では、喫煙と飲酒は MASLD 関連 HCC リスクをそれぞれ 30% (1.30 [1.08-1.57]) および 140% (2.41 [1.03-5.65]) 増加させた。代謝性危険因子に関しては、MASLD 患者において過体重または肥満 (1.31 [1.13-1.52])、糖尿病 (2.08 [1.71-2.53])、高血圧 (1.42 [1.12-1.80]) を有する患者は HCC 発症リスクが高く、一方脂質異常症は MASLD-HCC と負の関連を示した (0.78 [0.65-0.93])。メトホルミン、スタチン、アスピリンの使用は、新規 HCC 発症リスクをそれぞれ 18% (0.82 [0.68-0.98])、55% (0.45 [0.36-0.56])、36% (0.64 [0.44-0.92]) 低減させた。</p> <p>結論：この包括的系統的レビューおよびメタアナリシスでは、MASLD を有する入院患者において、喫煙、飲酒、肥満、糖尿病、高血圧が HCC 発症リスクの統計的有意な増加と関連することが示された。一方、メトホルミン、スタチン、アスピリン療法は疾患進行を修飾する可能性がある。</p>		